

資料 3 - 1

調査テーマ案：地域における高齢者の就業支援に関する調査—シルバー人材センターを中心として—

調査の背景

- 少子・高齢化の進展とともに**地域の労働力・担い手不足が深刻化**する中で、国は、企業における65歳までの雇用確保の義務化等を行う一方、柔軟な就業形態で働きたい、地域に貢献したいと考える高齢者が活躍できるよう、**シルバー人材センター**（以下「センター」という。）や**自治体等の取組を通じて多様な就業機会の確保を進めている**。
- センターでは、**会員の約3割が未就業である一方で、発注された仕事に対応できる会員がおらず、発注を断る事例が発生している**。また、**清掃・除草等が就業の半数を占めており、人手不足に苦慮する介護事業所等にとっての十分な受皿となれていない例もみられる**。
- センターや自治体等の取組における課題を把握し、意欲ある高齢者に対する就業機会の提供を促進するための方策を検討することを目的に調査を実施

現 状

- センターでは、就業機会の拡大に取り組んでいるものの、**変化する会員層の就業意欲に応じた就業先の確保や、業務の切り出し提案など人手不足に苦慮する事業者等とのマッチングに向けた工夫が不足している**
- 国のモデル事業（※）では、**事業終了後に取組が継続していない例がみられ、また、他地域への波及効果も限定的**

想定される課題

- センターでは、**会員の高齢化等に伴うニーズの変化や介護等の担い手不足への対応を進めることが必要ではないか**。
- 国のモデル事業について、**地域での自走や他地域への波及をより一層促進するための取組が必要ではないか**。

調査の方向性

- 地域における高齢者の就業支援に関する取組状況を調査し、センターの活用を含めた就業施策促進の方策を検討
- ・ センターにおける会員の獲得や仕事のマッチング促進に向けた取組状況
 - ・ 自治体に対するモデル事業の自走に向けた支援の状況、自治体等における独自の施策の実施状況 等